

平成22年度測位航法学会事業計画

●ニューズレターの発行

ためになる記事、学会にまつわる諸事を満載した雑誌を年4回（3月・6月・9月・12月）発行する。会員限定でネット上にて公開している最新学術論文の目次も収録する。21年3月15日創刊号を発行。今年度4回発行予定。ニューズレター編集委員長 白井澄夫（三菱電機）

●インターネット論文集の公開

会員の原著論文を広く集め、論文審査委員会にて審査をパスした論文を論文集として、J-STAGEを通じ、インターネット上で公開する。最新の測位・航法の研究について知ることができる。論文募集中。論文審査委員長 長岡 栄（電子航法研）、幹事 宮野智行（都立航空高専）

●全国大会の開催（春季）

会員が日ごろの研究活動成果を全国大会の研究発表会で発表し、質疑応答など直接意見の交換を行うことができる。22年度は4月22・23・24日に、東京海洋大学品川キャンパス楽水会館にて開催。発表27件。実行委員長 樊 春明（東京海洋大学）

●総会

全国大会では会員による本学会の運営を決定するための総会を同時に開催する。総会では事業報告/決算報告/事業計画/収支予算/役員を選出/表彰授与/適宜必要な議題について方針決定を行う。本年度は4月23日、東京海洋大学品川キャンパス楽水会館にて開催。

●若手の育成（セミナーの開催）

若手向けのセミナーを開催し、積極的に若手を育成し研究の裾野の拡大を目標とします。本年度は全国大会に合わせて「精説GPS第二版」セミナーを4月22・23日に実施予定。年度内に1～2回開催予定。

●シンポジウムの開催（秋季）

会員だけでなく一般の人をも対象としたシンポジウムを年一回秋に開催し、大学、研究所、企業、学生、会員以外の一般からも測位・航法の関連研究論文を広く集め、研究成果の発表・討論・情報交換の場を設ける。また測位航法に関連した企業の機器展示会を併催し、最新の企業商品・サービス情報を得られる場を設ける。22年度は11月4・5・6日に開催予定。秋季研究発表会。チュートリアルを兼ねる。

●G空間EXPOの協力

9月19・20・21日開催予定のG空間EXPOで市民向けセミナー及び屋内測位デモを開催予定。吉村和昭氏（電波について）、橋本進氏（近代の航法）、安田明生（衛星測位入門）、中島信生（屋内測位の実際）

●測位・航法に関する図書、印刷物の出版

外国で出版された優れた測位・航法関連書籍の翻訳を行い出版します。また測位・航法に関連する図書を出版します。「精説GPS」第二版翻訳書を発行し、セミナーで使用。

●日本学術会議協力学術団体申請

日本学術会議から学術団体としての認定を受け、同会議を通して、我が国の学術政策への提言者となる。